

情報通信審議会 情報通信技術分科会 電波利用環境委員会（第 48 回）
議事要旨

1. 日時

令和 3 年 3 月 4 日（木）～3 月 11 日（木）

2. 場所

メール審議

3. 出席者（敬称略）

（1）委員

多氣主査、山中主査代理、秋山専門委員、大西専門委員、尾崎専門委員、熊田専門委員、曾根専門委員、平専門委員、田島専門委員、田中専門委員、塚原専門委員、長谷山委員、平田専門委員、堀専門委員、松永専門委員、増田委員、山口専門委員、山崎専門委員、山下専門委員、和氣専門委員

（2）事務局（総務省）

梶原課長補佐他

4. 議事要旨

地中埋設型基地局等の新たな無線システムから発射される電波の強度等の測定方法及び算出方法に係る技術的条件に関する電波利用環境委員会報告（案）について資料 48-1 及び資料 48-2 に基づき、検討が行われた。概要は以下のとおり。

尾崎専門委員）提出意見 3 について、コメント発信者はマンホール表面への「管理者名」「周波数」「空中線電力」の明記を要求しているので、補足説明の追記をご検討願いたい。事務局）御意見を踏まえ、当該意見に対する考え方に次の文言を追記する。

・なお、無線設備の諸元等をハンドホールに明記すべきとの御意見については、無線局の運用に関する事項となるため、総務省における今後の検討の際に参考にすることが適当であると考えます。」

田中専門委員）意見 3 に対する考え方のうち、平成 30 年度の情報通信審議会答申の件名について、例えば、全体をカギ括弧で括るなど、年度と答申との関係が明確になるように記載した方が良いのではないかどの。

事務局）御意見を踏まえ、当該意見に対する考え方を次のとおり修正する。

・平成 30 年度の情報通信審議会答申「電波防護指針の在り方」のうち「高周波領域における電波防護指針の在り方」→情報通信審議会答申「高周波領域における電波防護指針の在り方」（平成 30 年 9 月 12 日）

以上の修正を行い、再度委員に対して確認を行ったところ特に追加意見はなく、地中埋設型基地局等の新たな無線システムから発射される電波の強度等の測定方法及び算出方法に係る技術的条件に関する電波利用環境委員会報告（案）は了承された。

（以 上）